

# 環境経営レポート

神戸エンジニアリングサービス株式会社

2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)

# KESCO



  
エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0001030

発行日： 2024年6月7日

## 目 次

項 目	ページ
ご挨拶	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営組織及び役割・責任・権限	3～4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	6～7
各事業所の取組紹介	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
緊急事態対応の試行・訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9



わが社は、リサイクルを通じて地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み、持続可能な経済社会を次世代に継承するために、社員一丸となって環境に配慮した企業活動を推進していきます。

神戸エンジニアリングサービス株式会社  
代表取締役社長 須藤 聖

## 環境経営方針

### 環境理念

当社の廃タイヤ並びに木くずの再資源化事業活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、環境経営システムを構築・運用し、全員が一丸となって自主的・積極的環境保全活動に取り組みます。

### 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制およびその他の要求事項について、当社が約束したことを順守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとし次のことを推進します。
  - ① 電力使用量と軽油使用量の削減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ② 水使用量の削減に努めます。
  - ③ 100%の再資源化、廃棄物の削減及び工場周辺の環境美化に努めます。
  - ④ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境目標として、木くずは製紙用原料、建材用原料、ボイラー用燃料、畜産用代用敷き藁に、廃タイヤはボイラー用燃料等に供給します。
4. 全従業員にこの環境経営方針を周知するとともに、社外に公表します。

制定日 2006年4月1日  
改定日： 2023年6月20日

代表取締役社長 須藤 聖

## 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
神戸エンジニアリングサービス株式会社  
代表取締役社長 須藤 聖
- (2) 所在地  
本社・御影工場 兵庫県神戸市東灘区御影浜町1番地7
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 取締役工場長 馬場 伯幸 TEL: 078-811-3610  
担当者 主任部員 深山 逸平 TEL: 078-811-3610

- (4) 事業内容  
産業廃棄物の中間処理及び収集運搬

- (5) 事業の規模  
法人設立 1979年2月1日  
資本金 1,200 万円  
売上高 45,000 万円

	本社・御影工場	業務委託
従業員	6 名	11 名
延べ床面積	3,533 ㎡	

受託した産業廃棄物

収集運搬量	238 t		
中間処理量	31,442 t	うち再資源化量	31,050 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	316 t	うち再資源化量	316 t

車種	台数	備考
パワーショベル	3 台	破砕機投入・材料選別用
ショベルローダー	8 台	2022年1台増車。運搬・積込用(予備車3台含む)
フォークリフト	2 台	荷卸し用(予備車1台含む)
普通貨物車	1 台	収集運搬用 4 tトラック
普通乗用車	2 台	普通車1台、軽1台
合計	16 台	

主要設備

名称	台数	備考
ビード抜き機	4 台	タイヤ用 (LT用3台 TB用1台)
16分割機	2 台	タイヤ用 (LT用1台 TB用1台)
背割り機	1 台	タイヤ用 (TB用1台)
破砕機	1 台	タイヤ用
トロンメル	1 台	タイヤ用フルイ機
破砕機	1 台	木くず用
ローラースクリーン	1 台	木くず用フルイ機
磁気選別機	4 台	木くずの金属除去
金属検知器	2 台	木くずの非鉄金属除去
風力選別機	2 台	木くずの非鉄金属除去

### □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 神戸エンジニアリングサービス株式会社  
対象事業所： 本社・御影工場

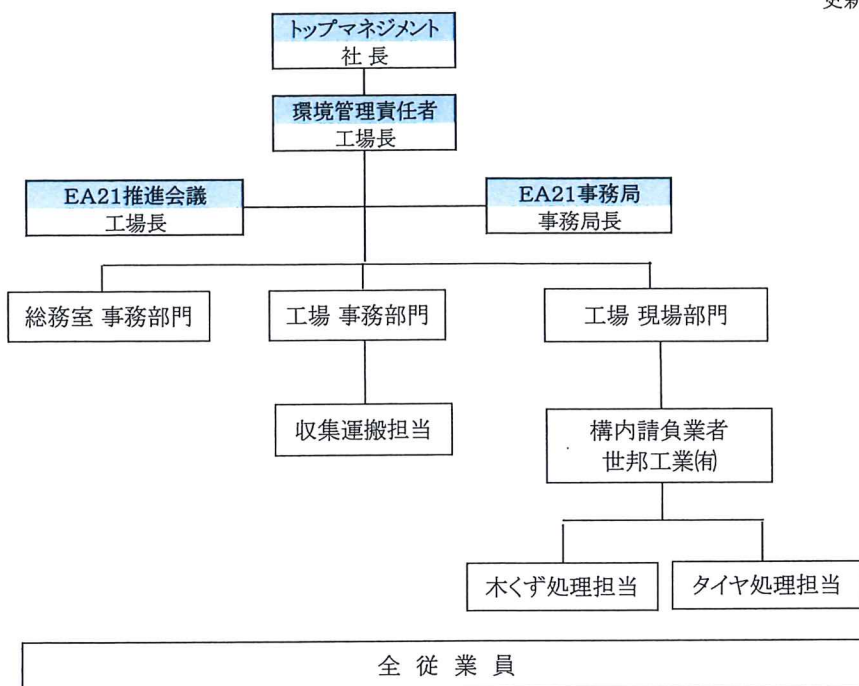
活動： 産業廃棄物の中間処理及び収集運搬

### □事業の紹介

家屋の解体材や流通で使用した梱包材などの木材、及び使用済みの廃タイヤを破砕・切断してチップ等に加工し、マテリアルリサイクルやバイオマスリサイクルで循環型社会に貢献しています。

# 環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2022年4月1日



	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針を策定する</li> <li>・環境経営システムを承認する</li> <li>・環境管理責任者を任命、環境保全活動の取り組みに関する責任及び権限の付与</li> <li>・環境マネジメントシステムの実施に必要な資源(人材、資金、技術等)の提供</li> <li>・内部環境監査長の任命</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営目標及び環境経営計画等を承認する</li> <li>・環境保全活動の取り組みを評価する</li> <li>・環境経営全般の運用を監視する</li> <li>・エコアクション21事務局の運営の指示をする</li> <li>・代表取締役へ運用状況等を報告する</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標及び環境経営計画を策定する</li> <li>・教育訓練、目標計画を策定する</li> <li>・環境経営システムの運用を推進する</li> <li>・環境負荷となる活動を特定する</li> <li>・各種報告書を作成する</li> <li>・条例、法令を管理及び文書及び記録を管理する</li> <li>・外部からの問い合わせに対応する</li> <li>・是正、予防措置を検討する</li> <li>・環境上の緊急事態への準備と対応策を策定する</li> <li>・内部監査年度計画を策定する</li> <li>・部署目標達成手段を策定し、責任者へ報告する</li> </ul>
EA21推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署のすべての従業員に対して教育・訓練を実施する</li> <li>・進捗状況の確認及び記録を当該上表の部署責任者に報告する</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画を従業員に周知する</li> <li>・環境経営目標や環境経営計画を踏まえて策定された目標達成手段の確認と、推進状況の把握を行う</li> <li>・部署に関連する法規制等を遵守する</li> <li>・部署推進者を任命する</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21事務局及び当該部署責任者の指示に基づき行動する</li> </ul>

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉍さい		
兵庫県	02803027416	令和2年3月17日	令和7年3月16日	無			○	○													

産業廃棄物処分業許可の内容

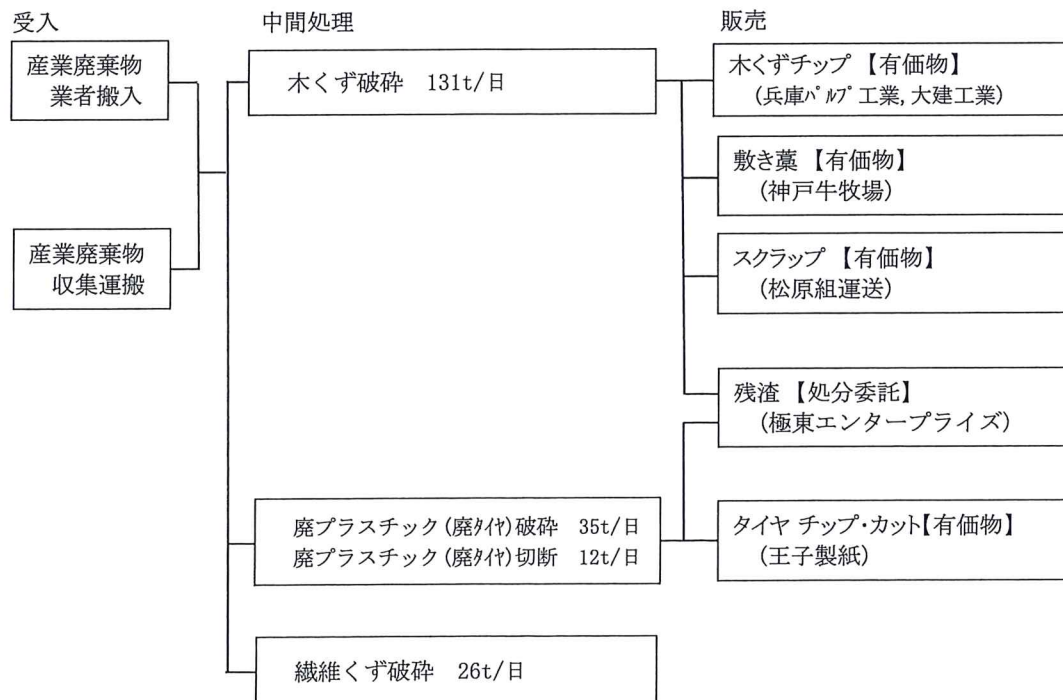
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																
					廃プラスチック類	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず										
神戸市	6920027416	令和5年4月1日	令和12年3月31日	破砕	○	○	○														
		令和5年4月1日	令和12年3月31日	切断	○																

★優良認定 平成26年1月 (優良)

□処理料金

処理料金については、品目等により異なりますので、見積書又は価格表を参照

□廃棄物処理フロー



# 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg・CO <sub>2</sub>	321,178	314,537	313,152
電気使用量(購入+太陽光)	kWh	490,104	456,818	449,705
軽油使用量	ℓ	59,892	61,269	61,698
廃棄物搬入量	t	31,287	30,933	31,442
産業廃棄物(木くず)	t	27,347	27,003	27,836
産業廃棄物(タイヤ)	t	3,940	3,930	3,606
上水使用量	m <sup>3</sup>	4,041	3,877	3,720
事業系一般廃棄物(ゴミ)	t	2.02	1.93	1.70
CO2排出係数 (kg・CO2/kWh)		0.334	0.334	0.334
電力会社		関西電力㈱	関西電力㈱	関西電力㈱
採用年度		2018	2018	2018

※上記二酸化炭素総排出量は、電力、ガソリン、軽油、LPG使用量に対するCO2排出量の合計です。

# 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	151,677	151,677	149,383	○	149,383	149,383
	基準年度比	2022年	100%	98%		100%	100%
原単位評価	kg-CO2/t	5.617	5.617	5.367	○	5.367	5.367
	基準年度比	2022年	100%	101%		100%	100%
軽油使用による二酸化炭素削減	kg-CO2	158,074	158,074	159,181	×	159,181	159,181
	基準年度比	2022年	100%	101%		100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	311,305	311,305	310,280	○	310,280	310,280
一般廃棄物の削減	t	2	2	2	○	2	2
	基準年度比	2022年	100%	88%		100%	100%
受託廃棄物のリサイクル率の維持	%	—	90%	99%	○	90%	90%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	3,877	3,877	3,720	○	3,720	3,720
	基準年度比	2022年	100%	96%		100%	100%
再資源化及び工場周辺の環境美化	毎月、受入チェック及び工場周辺清掃を確実に実施し、再資源化率の維持や工場周辺の環境美化が継続できた。 次年度も確実な維持継続を図る。						

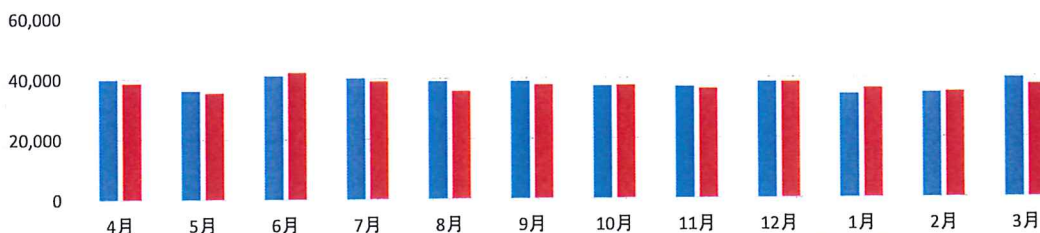
※ 電力・軽油・上水は、搬入量(処理量)に比例すると考え生産性(1トン処理をするのに使用した量)で算出  
 ※ 上記二酸化炭素総排出量は、電力、ガソリン、軽油、LPG使用量に対するCO2排出量の合計で、ガソリンとLPGは発生量が少ないため目標展開していません。

# 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成  
 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	電力使用量は、昨年度比1.6%減で環境目標を達成した。また、二酸化炭素の発生量も昨年度比1.5%減となり、改善した。次年度も省エネ意識を継続し電気消費量の削減を図る。
原単位目標	○	
・不要電力の削減 電灯・操業	○	
・エアコンは室温が夏季26℃、冬季20℃になるよう設定	○	
・省エネパトロールの実施 2回/月	○	

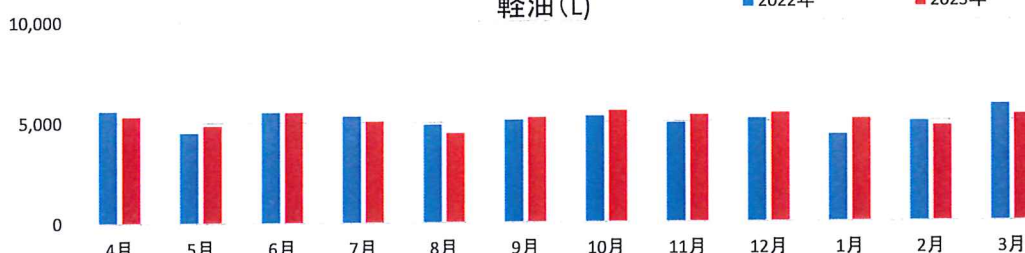
電力(kWh) ■ 2022年 ■ 2023年



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	39,858	36,136	41,050	40,239	39,068	38,969	37,320	37,021	38,536	34,324	34,706	39,593
2023年	38,633	35,374	42,097	39,118	35,749	37,797	37,486	36,369	38,388	36,255	35,044	37,396

軽油使用による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	軽油の使用量は、昨年度比1%増で環境目標をわずかに未達となったが、木くずの受入れ量が3%増であるため、実質的に削減が出来た。次年度も省エネ意識を向上し軽油消費量の削減を図る。
・アイドリング時間の短縮	○	
・空運転の削減 (意識づけ)	○	
・無駄な動きの削減 (置場の整理等)	○	

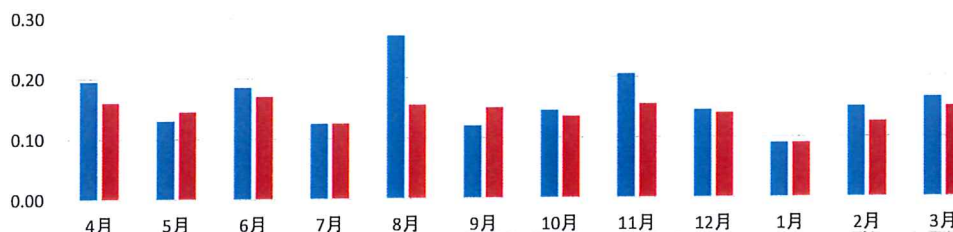
軽油(L) ■ 2022年 ■ 2023年



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	5,573	4,497	5,504	5,306	4,876	5,085	5,275	4,929	5,131	4,320	4,968	5,805
2023年	5,299	4,828	5,500	5,043	4,441	5,207	5,536	5,313	5,404	5,093	4,742	5,292

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	月毎では未達月が2回あったが、年間通じて見ると12%の大幅削減して目標を達成できた。引き続き一般廃棄物の削減を継続する。
・パトロールの実施 2回/月	○	

一般廃棄物 (ton) ■ 2022年 ■ 2023年



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0.20	0.13	0.19	0.13	0.27	0.12	0.15	0.21	0.15	0.09	0.15	0.17
2023年	0.16	0.15	0.17	0.13	0.16	0.15	0.14	0.16	0.14	0.09	0.13	0.15



受託廃棄物のリサイクル率の維持	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	不要物の受入れ確認を励行することにより、年間で見たりサイクル率は、目標を十分達成している。 次年度も不要物の受入れ防止を図り、目標のリサイクル率を維持継続する。
・受入基準チェックの励行	○	

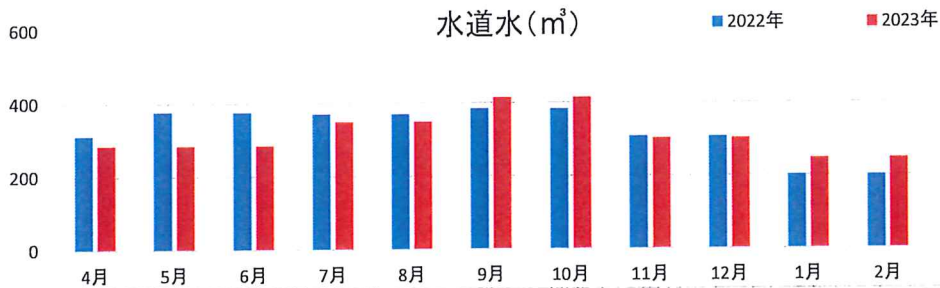
<取組紹介>

受入れ禁忌品の掲示を分かりやすく表示更新しました。

受入れ窓口と荷下ろし場所の2段階で、不要物の受入れ確認を行っています。

木くず以外、鉄の塊やボルト、プラスチック類他、処理出来ない物については、持ち帰って頂いています。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	毎月こまめに節水活動に取り組んだことにより、1年を通じて見ると4%減で目標を達成できた。 引き続き水道使用量の削減を継続する。
・シャワー使用時の節水	○	
・洗濯機使用時の節水（洗濯量の削減）	○	
・節水バトロール 1回/月（金曜日）	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	312	377	376	371	370	384	383	308	307	202	201	286
2023年	285	285	285	349	349	414	414	302	302	247	247	241

再資源化及び工場周辺の環境美化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・受入基準チェックの励行	○	毎月、受入チェック及び工場周辺清掃を確実に実施し、再資源化率の維持や工場周辺の環境美化が継続できた。 次年度も確実な維持継続を図る。
・工場周辺の清掃	○	

<工場周辺の清掃活動>



<御影工場>

太陽光発電

太陽光パネルを屋根に設置し自然エネルギーの活用を進めています。



## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可、 廃タイヤ及び木くず破碎施設 保管基準・中間処理基準 マニフェストの管理
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、積載物のはみ出し、安全運転管理者等
自動車NOx・PM法	収集運搬車
浄化槽法	工場内浄化槽の法定検査及び保守点検清掃
下水道法	油水分離槽の定期清掃
消防法（危険物）	指定可燃物・消火設備定期点検
フロン排出抑制法	業務用空調機、スポットクーラーの簡易点検・記録（1回/3ヶ月）
オフロード法	基準適合機械の使用・適正燃料の使用・適正な排出ガス性能の維持
自動車リサイクル法	車両（廃車時）
廃棄物処理法（水銀使用廃棄物）	蛍光ランプ、電池等廃棄時に確認を行い適正処理

- ・当社は臨港地区及び臨海部の工業専用地域であり、兵庫県条例で騒音・振動規制及び粉塵等の規制は適応されません。
- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

### □外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの苦情や要請等は有りませんでした。

# 緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2024年 1月 17日	■実施場所 神戸エンジニアリングサービス(株) 御影工場
■参加者: ・当日の業務従事者全員 (15名)	■実施内容: ・放水訓練
■評価: ・火災通報からスムーズに相互連携がとれ、短時間で放水が出来ました。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者の見直し実施日 2024年6月6日

取組み結果をみると、電力、一般廃棄物、水道水及びリサイクル率の維持について、従業員全員が環境保全意識を行動に移して1年間活動してきた結果、年度目標を達成できた。

一方、軽油の使用量については、目標に対し1%微増した為、二酸化炭素の削減目標達成には至らなかった。唯一軽油を燃料としている重機は、目標値である昨年度とほぼ同じ使用量を維持出来ているという面で、従業員の二酸化炭素削減意識が継続して取り組まれている結果だ。

地球温暖化を少しでも遅らせる一助になるよう、本活動を継続するとともに、軽油の使用量を維持または削減につとめること。

当社社員は、環境に配慮した活動を一丸となって取り組んで行くこと。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり